



渡り廊下

県立高松病院は昭和41年開設以来、現在まで多くの増改築工事が施工されてきた。平成14年に病院にて「県立高松病院施設整備検討」を施策し、施設全体配置の整理・動線の短縮及び分散したエネルギー源の集中化を図ることにより管理・運営の合理化を行い、サービス棟等改築工事を計画した。



渡り廊下



監視室

DATA

かほく市高松地内
平成16年8月～平成18年10月
1,215㎡

中央監視室・発電機室
S造：1F
209㎡

中央渡り廊下
S造：1F
229㎡

第2電気室
S造：1F
42㎡

サービス棟
S造：1F
734㎡

メンテナンス：今後の設備幹線類の更新が可能な配管ピットを持つ中央渡り廊下を建設

工程計画：既設サービス棟を利用しながらの建設となるため、北病棟地階にエネルギー設備の構築後、解体できる既設サービス棟・監視室跡地を計画